



フューチャーセッション：
2030年の社会を考える
—未来をデザインする力を取り戻すためには—
(結果報告レポート)

宮崎産業経営大学経営学部
公開講座(7/27)



セッションの流れ

1. チェックイン(15分)

2. イントロダクション(15分):

- ・なぜ2030年を想定するのか？現代の社会的課題とは？

3. ワールドカフェ(15分×2回)

- ・「私」「私たち」の思い描く未来
- ・「私たち」の未来のキャッチコピーを考える

4. クイックプロトタイピング(30分)

- ・未来を実現するための具体的なアクションを考える

5. プレゼンテーション・サークル(30分)

- ・各グループのアイデアをみんなで共有



セッションテーマ

- ・「私」「私たち」の思い描く未来(2030年の社会)を創るために、私たちはどのようなアクションを取ればいいのでしょうか？

<テーマ設定の意図(イントロダクション部分)>

- ・課題先進国である日本は、どのように問題を解決して(もしくは問題が解決できずにして)、2030年の社会を形成しているのか。そこにある社会はどのようなものか。
- ・未来は私たちの行動の結果である。望ましくない未来ではなく、思い描く未来を実現するために、どのようなアクションを行えばいいのか。

セッション風景①

- セッションでは、まず「私たち」が思い描く未来を想定し、その未来に進んでいくためのキャッチコピーを定めました。そして、思い描く未来を実現するための具体的なアクションを考えました。
- プレゼンテーションの時間では、各グループが考えたキャッチコピーとアクションを報告してもらいました。



プレゼンテーション①

- キャッチコピー

「毎日がホームパーティ - すべてはパーティのために - 」

<内容>

2030年は毎日が楽しい。例えるならホームパーティのように。誰もがゆとりがあり、余裕があり、生活を楽しんでいる未来。課題は、ホームパーティの仕方が分からないこと(笑)。欧米のような生活の楽しみ方が日本でも定着している！？



プレゼンテーション②

- キャッチコピー
「信頼している？」

<内容>

2030年は信頼でつながっている社会。現在は、人と人、人と社会、人と職場が断絶されている。もう一度、信頼をベースに社会を創り、そこに幸せを見いだせるような社会に。信頼できる人、信頼できる社会、信頼できる職場で生きていこう。



プレゼンテーション③

- キャッチコピー

「No Megane No Life」

<内容>

メガネをかけている人は真面目。そのような固定観念にとらわれない社会が2030年の未来。男性だから、女性だから、メガネをかけているから、のように固定観念は古い。そのような固定観念を受けない自由な社会。誰もが自分らしさを発揮できる。

プレゼンテーション④

- キャッチコピー

「誰もイキイキと暮らせる社会！」

<内容>

なんとなく窮屈な思いをして暮らしている現代人。2030年は目には見えない負担がなくなり、誰もが社会的なリーダーとなり、イキイキと社会に参画する社会。もう人には頼らない！自分自身の手で社会を創っていく。

セッション風景②





サークル

- 最後にサークルで、みんなで感想と明日からの具体的なアクション宣言を共有しました。
- 本日生まれたアイデアを、ぜひアクションにつなげてみてくださいと伝えて、セッションは終了しました。